



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者(役職名) IR室 室長

(氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	74,771	3.3	15,882	2.2	12,523	△2.1	12,532	△2.1	34.88	34.77
2024年3月期第1四半期	72,389	10.5	15,542	46.6	12,792	65.2	12,800	64.9	34.33	34.23

IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	74,771	3.3	13,155	3.2	13,450	4.5	10,607	1.9	10,633	2.1	18,590	△6.0
2024年3月期第1四半期	72,389	10.5	12,750	53.0	12,868	41.8	10,412	55.5	10,414	56.3	19,778	1.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	29.59	29.50
2024年3月期第1四半期	27.93	27.85

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	434,156	305,938	306,686	70.6	862.94
2024年3月期	435,699	305,369	306,055	70.2	843.24

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	16.00	-	17.00	33.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	0.0	55,000	△12.4	41,250	△15.0	117.05

IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	0.0	44,500	15.5	45,000	50.6	33,500	25.5	92.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

- IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 経営成績等の概況(1)当四半期の経営成績の概況(P3参照)」をご覧ください。
- 2024年5月9日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2025年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たりコア当期利益」及び「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	363,996,254株	2024年3月期	363,996,254株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,344,065株	2024年3月期	786,780株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	359,145,969株	2024年3月期1Q	372,779,530株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2024年3月期 49,311株、2025年3月期1Q 488,811株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年8月6日（火）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	8
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(重要な後発事象)	14
3. 連結参考資料	15
(1) 主要製品売上収益	15
(2) 主要通貨為替レート	15
(3) 開発状況	16
(4) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1 (P3参照)

(単位：億円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	724	748	3.3%
コア営業利益	155	159	2.2%
コア四半期利益	128	125	△2.1%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	128	125	△2.1%

[売上収益]

前年同期と比べ3.3%増加し、748億円となりました。

日本では薬価改定の影響やジクアスLX点眼液の自主回収の影響を受けたものの新製品や主力製品の拡大に注力、中国・アジア・EMEAでも主力製品が堅調に推移したことに加え為替影響もあり、前年同期と比べて増収となりました。

◇日本

6%台後半の薬価改定やジクアスLX点眼液の自主回収の影響はあったものの、2024年4月に販売を開始したアイリーア8mg硝子体内注射液114.3mg/mLや、同5月に販売を開始したアレジオン眼瞼クリーム0.5%等を含む主力製品の拡大に注力した結果、前年同期と比べ1.1%減少し、406億円となりました。主力製品（群）の売上は次のとおりです。

「エイベリス点眼液」	11億円	(対前年同期増減率 + 2.3%)
「ジクアス点眼液 ^{※2} (P3参照)」	12億円	(対前年同期増減率 △ 78.6%)
「アレジオン類 ^{※3} (P3参照)」	63億円	(対前年同期増減率 +126.0%)
「アイリーア硝子体内注射液 ^{※4} (P3参照)」	199億円	(対前年同期増減率 + 7.6%)
一般用医薬品	25億円	(対前年同期増減率 △ 6.4%)
医療機器	11億円	(対前年同期増減率 + 25.1%)

◇中国

主力製品に注力して成長基調を維持した結果、円換算ベースで前年同期と比べ18.4%増加し（為替影響を除いた成長率は+6.4%）、78億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「ジクアス点眼液」	10億円	(対前年同期増減率 △ 6.6%)
「ヒアレイン点眼液」	22億円	(対前年同期増減率 + 14.6%)
「クラビット点眼液」	21億円	(対前年同期増減率 + 32.0%)

◇アジア（中国除く）

韓国における医師ストライキの影響を受けたものの、主要国では下記主力製品等が堅調に推移し、円換算ベースで前年同期と比べ20.0%増加し（為替影響を除いた成長率は+9.9%）、73億円となりました。

「コソプト配合点眼液」	18億円	(対前年同期増減率 + 12.5%)
「クラビット点眼液」	5億円	(対前年同期増減率 △ 15.0%)

◇EMEA

現地での領域別市場シェア一位の緑内障製品を中心に伸長し^{※5（P3参照）}、円換算ベースで前年同期と比べ4.5%増加し（為替影響を除いた成長率は△6.4%）、186億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「コソプト配合点眼液」	45億円	（対前年同期増減率	+ 28.0%）
「タプロス点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	+ 2.5%）
「タプコム配合点眼液」	16億円	（対前年同期増減率	+ 18.0%）
「Ikervis（アイケルビス）」	23億円	（対前年同期増減率	△ 43.3%）
「プリザーフロ マイクロシヤント」	10億円	（対前年同期増減率	+ 32.4%）

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ0.8%増加し、428億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ3.5%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△3.2%）、214億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ11.5%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△18.1%）、55億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ2.2%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△1.3%）、159億円となりました。

※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・持分法による投資損益
- ・企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用

※2 ジクアスLX点眼液を含みます。

※3 アレジオン点眼液、アレジオンLX点眼液及びアレジオン眼瞼クリーム0.5%を含みます。

※4 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品で、アイリーア 8mg硝子体内注射液を含みます。

※5 出典：Copyright © 2024 IQVIA. IQVIA MIDAS 2023.1Q-2023.4Qを基に参天分析 無断転載禁止

(イ) IFRS（フル）ベース

（単位：億円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	724	748	3.3%
営業利益	127	132	3.2%
四半期利益	104	106	1.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	104	106	2.1%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

コアベースからの調整内容として、前第1四半期に米州の合理化に関する費用が、売上原価に1億円、販売費及び一般管理費に4億円、研究開発費に1億円それぞれ発生しました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ4.5%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△0.0%）、24億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品及び2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産、並びに2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び2023年より欧州で販売を開始した「Rhopressa / Rocklatan」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、1億円となりました。

その他の費用は、4億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は前年同期と比べ3.2%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△0.1%）、132億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、7億円となりました。

金融費用は、4億円となりました。

法人所得税費用は、前年同期から4億円増加し、28億円となりました。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ1.9%増加し、106億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比べ2.1%増加し、106億円となりました。売上収益に対するその比率は、14.2%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF_{2α}誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2022年12月に販売承認を申請しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：セペタプロスト）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2023年6月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグランジンF_{2α}誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2022年3月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では2023年11月に販売承認を取得しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では販売承認を取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF_{2α}誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジアに続き、中国で2022年4月に販売承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年11月に発売しました。アジアでは、2024年3月に韓国で販売承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2024年3月に第Ⅰ相／前期第Ⅱ相試験を終了しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占の実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2024年6月に追加の前期第Ⅱ相試験を開始しました。

アレルギー性結膜炎を対象とする眼瞼クリーム製剤STN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2024年5月に発売しました。

アレルギー性結膜炎を対象とする1日2回点眼の高用量製剤STN1011403（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、中国で2024年3月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2024年2月に製造販売承認を申請しました。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2023年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。中国では2024年3月に第Ⅰ相試験を終了しました。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2024年3月に第Ⅲ相試験を終了しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（スイス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、4,342億円となりました。商品等の棚卸資産の増加などがあった一方、営業債権及びその他の債権の減少及び現金の減少などにより前期末と比べ15億円減少しました。

資本は、3,059億円となりました。自己株式の取得による資本圧縮効果の一方、その他の資本の構成要素及び利益剰余金の増加などにより前期末と比べ6億円増加しました。

負債は、1,282億円となりました。営業債務及びその他の債務の増加などがあった一方、賞与の支払によるその他の流動負債の減少及び法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ21億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.4ポイント増加し、70.6%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組みます。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、121億円の収入（前年同期は25億円の収入）となりました。四半期利益106億円、減価償却費及び償却費47億円、営業債権及びその他の債権の減少84億円、棚卸資産の増加64億円、未払賞与の減少50億円、並びに法人所得税の支払額48億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億円の支出（前年同期は27億円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出6億円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、189億円の支出（前年同期は138億円の支出）となりました。自己株式の取得による支出121億円及び配当金の支払額61億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ48億円減少し、897億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本における新製品の堅調な伸長やジクアスLXの通期出荷停止などの個別製品の前提条件の変更に加え、直近の推移を踏まえた外国為替レート前提も含む海外事業の予想の見直し等により、2024年5月9日に公表した通期連結業績予想を次の通り変更することにしました。

コアベース

	売上収益	コア営業利益	コア当期利益	基本的1株当たり コア当期利益
期初発表予想（A） （2024年5月9日公表）	億円 2,970	億円 550	億円 413	円 銭 117.05
今回修正予想（B）	3,020	550	413	117.05
増減額（B-A）	50	0	0	
増減率（%）	1.7%	0.0%	0.0%	
（参考）前期連結実績 （2024年3月期）	3,020	628	485	132.13

IFRS（フル）ベース

	売上収益	営業利益	税引前 当期利益	当期利益	基本的1株当たり 当期利益
期初発表予想（A） （2024年5月9日公表）	億円 2,970	億円 445	億円 450	億円 335	円 銭 92.22
今回修正予想（B）	3,020	445	450	335	92.22
増減額（B-A）	50	0	0	0	
増減率（%）	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
（参考）前期連結実績 （2024年3月期）	3,020	385	299	267	72.59

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	72,389	74,771
売上原価	△30,024	△32,005
売上総利益	42,365	42,766
販売費及び一般管理費	△21,066	△21,379
研究開発費	△6,301	△5,504
製品に係る無形資産償却費	△2,329	△2,433
その他の収益	303	63
その他の費用	△222	△357
営業利益	12,750	13,155
金融収益	1,050	702
金融費用	△168	△407
持分法による投資損失	△764	—
税引前四半期利益	12,868	13,450
法人所得税費用	△2,456	△2,843
四半期利益	10,412	10,607
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	1,394	△135
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	7,223	7,946
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	7
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	749	164
その他の包括利益	9,366	7,983
四半期包括利益合計	19,778	18,590
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	10,414	10,633
非支配持分	△2	△26
四半期利益	10,412	10,607
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	19,802	18,653
非支配持分	△24	△63
四半期包括利益合計	19,778	18,590
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	27.93	29.59
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	27.85	29.50
<コアベース>		
売上収益	72,389	74,771
コア営業利益	15,542	15,882
コア四半期利益	12,792	12,523
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	34.33	34.88
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	34.23	34.77
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	12,800	12,532
非支配持分	△8	△9
コア四半期利益	12,792	12,523

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	71,576	72,214
無形資産	83,819	83,219
金融資産	21,832	21,875
退職給付に係る資産	7,165	7,069
持分法で会計処理されている投資	2,574	2,738
繰延税金資産	10,765	11,139
その他の非流動資産	1,829	2,024
非流動資産合計	199,560	200,280
流動資産		
棚卸資産	43,185	51,067
営業債権及びその他の債権	90,539	83,628
その他の金融資産	379	476
その他の流動資産	7,453	8,962
現金及び現金同等物	94,582	89,744
流動資産合計	236,139	233,876
資産合計	435,699	434,156

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,777	8,777
資本剰余金	9,854	10,070
自己株式	△1,018	△13,080
利益剰余金	240,029	244,487
その他の資本の構成要素	48,411	56,432
親会社の所有者に帰属する持分合計	306,055	306,686
非支配持分	△685	△749
資本合計	305,369	305,938
負債		
非流動負債		
金融負債	32,439	32,623
退職給付に係る負債	1,292	1,364
未払法人所得税等	—	387
引当金	687	697
繰延税金負債	1,377	1,202
その他の非流動負債	1,739	2,041
非流動負債合計	37,534	38,313
流動負債		
営業債務及びその他の債務	43,531	45,632
その他の金融負債	25,711	25,802
未払法人所得税等	5,127	2,939
引当金	1,783	2,351
その他の流動負債	16,643	13,182
流動負債合計	92,796	89,905
負債合計	130,329	128,218
資本及び負債合計	435,699	434,156

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2023年4月1日残高	8,702	9,789	△364	238,071	—	7,917	27,971
四半期包括利益							
四半期利益				10,414			
その他の包括利益						1,394	7,245
四半期包括利益合計	—	—	—	10,414	—	1,394	7,245
所有者との取引額							
新株の発行	4	4					
自己株式の取得		△9	△7,037				
自己株式の処分			29				
配当金				△6,009			
株式報酬取引		170					
その他				185		△185	
所有者との取引額合計	4	165	△7,008	△5,825	—	△185	—
2023年6月30日残高	8,707	9,955	△7,372	242,661	—	9,126	35,216

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2023年4月1日残高	—	1,562	331	37,781	293,979	△683	293,297
四半期包括利益							
四半期利益				—	10,414	△2	10,412
その他の包括利益		749		9,388	9,388	△22	9,366
四半期包括利益合計	—	749	—	9,388	19,802	△24	19,778
所有者との取引額							
新株の発行			△9	△9	0		0
自己株式の取得				—	△7,045		△7,045
自己株式の処分				—	29		29
配当金				—	△6,009		△6,009
株式報酬取引				—	170		170
その他				△185	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△9	△193	△12,856	—	△12,856
2023年6月30日残高	—	2,311	322	46,975	300,925	△706	300,219

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2024年4月1日残高	8,777	9,854	△1,018	240,029	—	5,481	40,306
四半期包括利益							
四半期利益				10,633			
その他の包括利益					—	△135	7,984
四半期包括利益合計	—	—	—	10,633	—	△135	7,984
所有者との取引額							
自己株式の取得		△14	△12,061				
配当金				△6,175			
株式報酬取引		230					
所有者との取引額合計	—	216	△12,061	△6,175	—	—	—
2024年6月30日残高	8,777	10,070	△13,080	244,487	—	5,346	48,289

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2024年4月1日残高	△20	2,464	181	48,411	306,055	△685	305,369
四半期包括利益							
四半期利益				—	10,633	△26	10,607
その他の包括利益	7	164		8,020	8,020	△37	7,983
四半期包括利益合計	7	164	—	8,020	18,653	△63	18,590
所有者との取引額							
自己株式の取得				—	△12,076		△12,076
配当金				—	△6,175		△6,175
株式報酬取引				—	230		230
所有者との取引額合計	—	—	—	—	△18,021	—	△18,021
2024年6月30日残高	△13	2,629	181	56,432	306,686	△749	305,938

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	10,412	10,607
減価償却費及び償却費	4,031	4,707
持分法による投資損益（△は益）	764	—
受取利息、受取配当金及び支払利息（△は益）	△218	△285
法人所得税費用	2,456	2,843
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	4,766	8,413
棚卸資産の増減（△は増加）	△1,708	△6,435
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△3,905	1,521
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△953	438
その他の流動資産の増減（△は増加）	△1,900	△1,461
未払賞与の増減（△は減少）	△3,877	△4,957
未払金の増減（△は減少）	△3,022	△2,500
預り金の増減（△は減少）	575	1,271
その他	1,138	2,541
小計	8,560	16,702
利息の受取額	93	300
配当金の受取額	242	207
利息の支払額	△144	△231
法人所得税の支払額	△6,208	△4,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,544	12,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の売却による収入	388	—
有形固定資産の取得による支出	△2,481	△575
無形資産の取得による支出	△456	△412
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△135	—
その他	△15	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,700	△1,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△7,037	△12,076
配当金の支払額	△5,920	△6,097
リース負債の返済による支出	△827	△764
その他	23	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,761	△18,936
現金及び現金同等物の増減額	△13,917	△7,812
現金及び現金同等物の期首残高	57,903	94,582
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,524	2,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,510	89,744

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Santenグループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2023年5月12日から2023年6月30日までに5,669,900株を総額7,036百万円で取得しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|--|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 18,750,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.0%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 245億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2023年5月12日～2024年3月22日 |
| ⑤ 取得方法 | 取引一任方式による市場買付け |

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2024年5月10日から2024年6月30日までに7,117,700株を総額11,361百万円で取得しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

2023年4月13日発表の中期経営計画（2023-2025年度）における資本配分の方針に基づき、収益力の改善や事業環境などを総合的に勘案し、利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 21,110,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.8%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 380億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2024年5月10日～2024年11月6日 |
| ⑤ 取得方法 | 取引一任方式による市場買付け |
| ⑥ その他 | 自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、消却する予定です。
なお、投資機会や市場環境等により、一部の取得が行われない可能性もあります。 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料
 (1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2024年3月期				2025年3月期					
		第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	8月6日発表 通期見込	対前年 伸長率	5月9日発表 通期予想	
緑内障・高眼圧症治療剤領域											
コソプト配合点眼液	合計	6,294	4.4%	25,609	8.0%	7,191	14.3%	26,406	3.1%	25,136	
	日本	1,121	△21.8%	3,955	△15.4%	825	△26.4%	2,411	△39.0%	2,697	
	アジア	1,643	12.6%	6,882	12.6%	1,848	12.5%	7,117	3.4%	6,838	
	EMEA	3,530	12.5%	14,772	14.4%	4,518	28.0%	16,879	14.3%	15,600	
タプロス点眼液	合計	4,884	△0.2%	18,521	△1.2%	4,252	△12.9%	17,105	△7.6%	16,385	
	日本	1,973	△13.2%	5,937	△23.5%	986	△50.1%	3,537	△40.4%	3,515	
	中国	320	152.8%	1,774	69.7%	606	89.5%	2,181	22.9%	2,038	
	アジア	532	3.3%	2,386	4.8%	552	3.7%	2,753	15.4%	2,627	
タプコム配合点眼液	合計	2,360	10.8%	9,234	12.6%	2,453	3.9%	9,863	6.8%	9,288	
	日本	689	△9.4%	2,192	△17.3%	454	△34.1%	1,563	△28.7%	1,539	
	アジア	296	23.4%	1,332	26.8%	377	27.2%	1,598	20.0%	1,531	
	EMEA	1,374	21.8%	5,710	26.8%	1,621	18.0%	6,702	17.4%	6,218	
トルソプト点眼液	合計	1,272	1.7%	4,927	0.9%	1,312	3.1%	5,012	1.7%	4,884	
	日本	245	△16.9%	872	△11.1%	211	△13.7%	766	△12.1%	751	
	アジア	105	6.9%	449	△1.0%	119	13.5%	450	0.0%	418	
	EMEA	922	7.4%	3,606	4.6%	982	6.4%	3,797	5.3%	3,715	
エイベリス点眼液	合計	1,208	7.6%	4,846	16.6%	1,278	5.8%	5,029	3.8%	4,962	
	日本	1,117	3.8%	4,345	11.3%	1,142	2.3%	4,411	1.5%	4,367	
	アジア	91	94.5%	430	71.5%	136	49.9%	618	43.7%	595	
角結膜疾患治療剤領域											
ジクアス点眼液	合計	3,610	△28.8%	12,610	△23.0%	2,762	△23.5%	11,846	△6.1%	8,119	
	日本	1,974	△49.1%	6,832	△41.3%	1,168	△40.8%	6,200	△9.3%	2,746	
	中国	1,098	64.8%	3,315	19.6%	1,026	△6.6%	3,039	△8.3%	2,853	
	アジア	539	2.2%	2,463	25.9%	569	5.7%	2,606	5.8%	2,519	
ジクアスLX点眼液	合計	3,491	—	13,251	186.8%	—	△100.0%	—	△100.0%	13,663	
	日本	3,491	—	13,251	186.8%	—	△100.0%	—	△100.0%	13,378	
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—	285	
ヒアレイン点眼液	合計	3,938	19.2%	17,134	15.9%	4,461	13.3%	19,733	15.2%	17,507	
	日本	1,414	△13.6%	5,184	△9.3%	1,236	△12.6%	4,934	△4.8%	3,519	
	中国	1,951	123.1%	8,808	36.9%	2,236	14.6%	10,626	20.6%	9,986	
	アジア	574	△27.6%	3,142	19.4%	989	72.4%	4,173	32.8%	4,002	
Ikervis (アイケルビス)	合計	4,486	146.8%	12,105	77.0%	2,859	△36.3%	11,914	△1.6%	11,104	
	アジア	377	5.6%	1,933	24.8%	528	40.2%	2,498	29.2%	2,419	
	EMEA	4,109	181.3%	10,172	92.3%	2,330	△43.3%	9,416	△7.4%	8,685	
Cationorm (カチオノーム)	合計	1,215	10.5%	4,526	12.9%	1,736	42.9%	5,132	13.4%	4,792	
	中国	—	—	73	—	122	—	553	655.9%	516	
	アジア	92	△23.9%	623	41.2%	262	185.1%	994	59.4%	808	
EMEA	803	13.7%	2,923	11.3%	1,091	35.8%	3,351	14.7%	3,036		
	抗アレルギー点眼剤領域										
	アレジオン類 (アレジオン点眼液、アレジオンLX点眼液及びアレジオン眼瞼クリーム0.5%)	合計	2,816	△41.9%	29,489	△12.1%	6,307	123.9%	28,960	△1.8%	27,739
日本		2,766	△42.4%	29,305	△12.3%	6,251	126.0%	28,722	△2.0%	27,502	
アジア		51	5.1%	184	23.1%	56	9.5%	238	29.5%	236	
Verkazia (バルカジア)	合計	416	95.3%	1,491	63.1%	436	4.7%	1,536	3.0%	1,319	
	EMEA	301	91.3%	1,181	57.9%	414	37.3%	1,514	28.2%	1,319	
網膜疾患治療剤領域											
アイリーア硝子体内注射液 (アイリーア8mg硝子体内注射液を含む)	合計	18,455	1.2%	72,716	2.0%	19,851	7.6%	76,025	4.6%	75,467	
	日本	18,455	1.2%	72,716	2.0%	19,851	7.6%	76,025	4.6%	75,467	
眼感染症治療剤領域											
クラビット点眼液	合計	2,935	52.4%	14,703	29.2%	3,387	15.4%	15,064	2.5%	13,947	
	日本	325	△14.1%	1,126	△12.4%	234	△28.0%	674	△40.2%	665	
	中国	1,625	123.4%	8,837	40.1%	2,145	32.0%	9,047	2.4%	8,443	
	アジア	598	25.7%	3,240	36.2%	509	△15.0%	3,631	12.0%	3,425	
EMEA	387	12.1%	1,499	6.5%	499	29.0%	1,712	14.2%	1,414		
	医療機器										
	レンティス コンフォート	合計	330	△0.1%	1,262	△5.2%	287	△13.2%	1,362	7.9%	1,403
		日本	330	△0.1%	1,262	△5.2%	287	△13.2%	1,362	7.9%	1,403
プリザーフロ マイクロシャント	合計	892	42.2%	4,144	70.6%	1,418	59.0%	5,865	41.5%	5,648	
	日本	110	—	758	710.0%	369	235.5%	1,289	70.0%	1,222	
	アジア	10	—	65	640.6%	26	173.4%	259	295.4%	249	
	EMEA	772	23.1%	3,320	42.7%	1,023	32.4%	4,317	30.0%	4,177	
一般用医薬品	合計	2,886	21.3%	11,242	5.8%	2,703	△6.3%	11,161	△0.7%	11,161	
	日本	2,628	22.7%	10,096	5.2%	2,461	△6.4%	9,987	△1.1%	10,037	
	中国	64	101.8%	310	18.5%	56	△12.2%	317	2.2%	328	
	アジア	194	△5.9%	836	8.4%	186	△4.1%	857	2.5%	796	

(2) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2024年3月期 第1四半期	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 (8月6日発表予想)	2025年3月期 (5月9日発表予想)
USドル	138.01	144.80	156.88	155.00	145.00
ユーロ	149.80	156.88	168.77	165.00	155.00
中国元	19.58	20.24	21.80	21.30	20.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（3）開発状況

2024年7月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国	2022年12月					
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
セベタプロスト	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本						
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2023年6月にフェーズ3試験を終了。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州	2023年11月					
				アジア						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。欧州で、2023年11月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon Inc.	日本						
				欧州	2023年2月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Alcon Inc.が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、販売承認取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon Inc.	欧州	2023年1月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF _{2α} 誘導体の配合剤。米国では、Alcon Inc.が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	中国	2022年4月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本	2022年11月					
				アジア	2024年3月					
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2024年3月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オロダテロール塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	ベーリンガーインゲルハイム	日本	(フェーズ1/2a)					
β ₂ 受容体作動薬。日本で2024年3月にフェーズ1／2a試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2024年6月に追加のフェーズ2a試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本						2024年5月
ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2024年5月に発売。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011403	アレルギー性結膜炎	ベーリンガーインゲルハイム	中国						
ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。1日2回点眼の高用量製剤。中国で、2024年3月にフェーズ3試験を開始。										

<屈折異常領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本 中国 アジア				2024年2月		
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2024年2月に製造販売承認を申請。中国で、2022年6月からフェーズ2 / 3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本 中国		(フェーズ2a)				
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM ₂ 受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月からフェーズ2a試験を実施中。中国で、2024年3月にフェーズ1試験を終了。										

<その他の領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals社	日本						
直接作用型αアドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2024年3月にフェーズ3試験を終了。										

■2023年度第4四半期決算発表時（2024年5月9日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1010905	日本で、2024年6月に追加のフェーズ2a試験を開始。
STN1011402	日本で、2024年5月に発売。

（4）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	2,588	10,245	652	9,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,387	6,279	1,661	6,800
製 造 経 費	634	3,426	989	3,670
販 売 管 理 費	597	2,270	538	2,510
研 究 開 発 費	156	583	134	620

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,329	9,471	2,433	8,800
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	1,452	5,808	1,451	4,817
Rhopressa/Rocklatan 無形資産償却費	298	1,250	340	1,680
ブリザーフロ マイクロシャント無形資産償却費	293	1,229	333	1,231
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	212	889	239	878
そ の 他	74	297	70	194

■研究開発費

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 累計実績*	通期実績*	第1四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	6,301	25,416	5,504	27,000

*IFRS（フル）ベースの金額です。なお、2024年3月期第1四半期のコアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用1億円を控除し、6,221百万円です。また、2024年3月期のコアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用2億円を控除し、25,257百万円です。

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。